

本研修は令和5年度まで「施設・社協職員のための『伝える』技術向上研修」として実施していました

# プレゼンテーション技術向上研修 開催要綱

**趣旨** チームケアや多職種連携、複数担任制保育等、福祉・介護・保育現場では、複数名が関わる機会が多々あります。また保護者や利用者家族との連絡、地域住民との懇談等、自らが「職場の代表」としての立場で話す場面も少なくありません。

本研修は、施設や社協職員が伝える技術（＝プレゼンテーション）の要点を順序立てて学び、自分の考えを他者に理解しやすいよう伝える技術を身に付けることによって、職場内のみならず関係機関や地域住民から支持され、活動が活性化することを目的として開催します。

## 研修のポイント！

### 伝える「プロ」から学べます

講師は、大学で高等教育開発や学習心理学を研究する、伝えることの「プロ」です。

「わかりやすい伝え方」を熟知した講師から、実践に役立つ技法を学べます。

### すぐに取り入れられるスキルを身に付けることができます

自分の業務で使用している説明資料等を用いて事前学習・グループワークを実施します。実務に即した内容でスキルを身に付けるため、すぐに活用できます。

### 自分の「プレゼンテーション」の客観的な意見が得られます

グループで実践するプレゼンテーションでは、メンバー同士で客観的な意見を出し合うので、自身の良い点や課題を発見することができます。

## 開催形式

オンライン（Web会議システム）

## 定員

50名

## 対象

社会福祉施設・社会福祉協議会等の職員

## 日程

令和7年8月7日（木）

## 研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

## 申込期間

令和7年6月10日（火）～令和6年7月8日（火）

## 受講決定

令和7年7月14日（月）までにご連絡します。

## プログラム

時間	研修科目	研修内容
9:30~10:00	受付	Web 会議システム Zoom ミーティング入室
10:00~10:10	オリエンテーション	日程、資料等の確認
10:10~16:00	アイスブレイク 「コミュニケーションの基本」	グループ内でプレゼンテーションの実践を行うにあたり、研修効果を高めるため、グループメンバーとの関係を構築します。
	実践1 「プレゼンテーションの実践①」	事前課題を使用し、グループ内でプレゼンテーションを実践します。
	講義 「プレゼンテーションの作法・技法」	プレゼンテーションの基本的な作法と、相手に伝わるプレゼンテーションにするための技法を学びます。
	ワーク 「プレゼンテーションのブラッシュアップ」	講義をもとに、自身のプレゼンテーションをブラッシュアップします。
	実践2 「プレゼンテーション実践②」	事前課題を使用し、再び、グループ内でプレゼンテーションを実践します。
	まとめとふり返り	プレゼンテーションにおける自身の良い点とこれからの課題を見つけます。

### 講師

山本 堅一 氏  
北海道大学 高等教育推進機構 准教授  
大学院教育推進機構 高等教育研修センター 副センター長

### 事前課題

本研修は、受講前に事前課題（研修中に使用するプレゼンテーション資料の作成）に取り組む必要があります。詳細については、受講決定時にお知らせします。

※ 本研修は隔年開催の予定です（令和8年度の開催はありません）。